

科目名	教育原論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	青 木 研 作						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本授業は、教育の理念や歴史、現代教育の課題に関する思想を扱いつつ、教育という営みへの深い洞察、さまざまな教育現実への批判的考察を促すことで、受講生が教育について分析・検討できる力を培うことをねらいとする。具体的には、新教育運動に至る西洋教育の変遷、学校教育制度成立以降の日本の学校教育史、新教育基本法体制下における21世紀の教育的課題などを題材に、その理念や思想について、受講生同士のグループ・ディスカッションを取り入れながら解説する。						
授業の 到達目標	①知識・理解 ・西洋で展開されたさまざまな教育思想について理解できる。 ・日本の公教育制度誕生から現在までの教育史を把握できる。 ・現代教育をめぐるさまざまな状況やその課題を把握できる。 ②思考・判断 ・公教育制度が誕生した背景や新教育運動を支えた教育思想について説明できる。 ・日本における第二次世界大戦下の学校教育と戦後の学校教育の違いについて説明できる。 ・現代教育の課題をめぐって存在する多様な見解を踏まえたうえで、自らの意見を持つことができる。 ③関心・意欲 ・人を「善く」とするとはどういうことかについて多様な考え方が存在したことを知り、教育とは何かについて自分なりに解釈しようとする意志を示す。 ④態度・技能・表現 ・現代の様々な教育問題について関心を持ち、それらの問題に対してレポートを作成することができる。						
学習方法	基本的には講義形式で進めるが、グループワーク等を通じて、各自がどのように考えたかを発信する機会を可能な限り設ける。						
テキスト及 び参考書等	テキスト：特に指定しない。参考書：安彦忠彦・石堂常世編、『最新教育原理』、勁草書房。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	○	○		○		10	
宿題・授業外レポート	○	◎		○		10	
授業態度							
受講者の発表	○	○	◎	○		5	
授業への参加度			◎			5	
その他	◎	○				70	
	授業内試験						
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	イントロダクション：教育とは何か						
第 2 週	西洋教育の歴史と思想 (1)：古代ギリシア						
第 3 週	西洋教育の歴史と思想 (2)：中世から近世						
第 4 週	西洋教育の歴史と思想 (3)：公教育制度の誕生						
第 5 週	西洋教育の歴史と思想 (4)：新教育運動						
第 6 週	日本の教育の歴史と思想 (1)：明治期の教育						
第 7 週	日本の教育の歴史と思想 (2)：大正期～戦時下の教育						
第 8 週	日本の教育の歴史と思想 (3)：戦後教育改革						
第 9 週	日本の教育の歴史と思想 (4)：教育基本法改正						
第 10 週	現代教育の理念と思想 (1)：新自由主義と教育改革						
第 11 週	現代教育の理念と思想 (2)：学力問題と教育課程改革						
第 12 週	現代教育の理念と思想 (3)：多文化社会と共生教育						
第 13 週	現代教育の理念と思想 (4)：宗教と公教育						
第 14 週	現代教育の理念と思想 (5)：教職の高度化と教員養成制度改革						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備考	【授業外学習 (事前学習・事後学習)】 中間レポートとして1000字程度のレポート作成を求める。また、授業の終わりに200字程度の小レポートを課す場合があるので、その際は、次回の授業時までには作成し、提出すること。						